

J Aバンク和歌山における地域密着型金融の取組状況（2022 年度）

和歌山県信用農業協同組合連合会

J Aバンク和歌山（和歌山県下 J A と和歌山県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2022～2024 年度 J Aバンク和歌山中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2022 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化

J Aバンク和歌山は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1） 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク和歌山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2023 年 3 月末時点の J Aバンク和歌山の農業関係資金残高^{（注1）}は 12,618 百万円（うち農業経営向け貸付金 9,180 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 209 百万円を取扱っています。

（注）1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 J Aバンク和歌山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	2023 年 3 月末現在
農業	9,180
穀作	233
野菜・園芸	1,097
果樹・樹園農業	3,505
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	49
養鶏・鶏卵	161
養蚕	0
その他農業	4,135
農業関連団体等	3,438
合計	12,618

（注）

1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、J A や全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	2023年3月末現在
プロパー農業資金	11,182
農業制度資金	1,436
農業近代化資金	1,137
その他制度資金	299
合 計	12,618

- (注) 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。
 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク和歌山が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク和歌山が低利で融資するものを対象としています。
 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

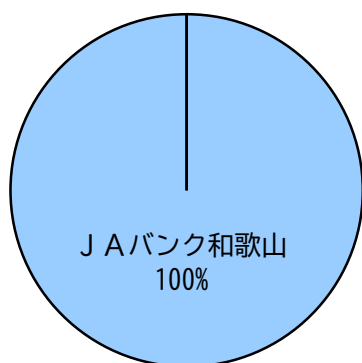
単位 百万円

種 類	2023年3月末現在
日本政策金融公庫資金	199
そ の 他	11
合 計	209

- (注) JAバンク和歌山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【和歌山県の農業近代化資金取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
 (2023年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク和歌山では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2022年度末時点で8J A・信連で13名配置しています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク和歌山は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク和歌山では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

	2022年度 実行件数	2022年度 実行金額	2023年3月末 残高
青年等就農資金	14	66	127
就農支援資金	—	—	11
J A新規就農応援資金	10	30	78
合計	24	96	215

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

J Aバンク和歌山は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2022年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	内容
食農ネットワーク会議	毎月	農林中央金庫	全国規模で地域特産物の販路拡大支援等のビジネスマッチングを行うもの。

(4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク和歌山では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(5) 災害等の被害を受けた方への支援

J Aバンク和歌山では、県内特産農産物を生産する農家の農業経営安定化を図る資金を創設するなど、担い手に対する経営支援に取り組んでいます。

取組事例	J A名	内容
新型コロナウイルス感染症緊急対策資金の創設	J Aバンク和歌山	新型コロナウイルス感染拡大により、農業経営に影響を受けた農業者に対しての対策資金を創設いたしました。
ミカン生産農家に対する農業経営安定化を図るための資金対応	J A紀南	ミカン生産農家に低利資金を融通し、農業経営の安定化の支援を行いました。
ウメ生産農家に対する農業経営安定化を図るための資金対応	J A紀南	ウメ生産農家に低利資金を融通し、農業経営の安定化の支援を行いました。

(6) 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決ソリューションの提供・蓄積

J Aバンク和歌山では、地元地域農業の担い手に対するサポートとして、経営環境を踏まえた現状・課題整理や経営課題に対するソリューション提供等に取り組んでいます。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク和歌山では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク和歌山では、農林中央金庫と協力し農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク和歌山では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク和歌山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援する

ため、負債整理資金を取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

(1) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク和歌山は、子供たちに食・環境と農業への関心や理解を深めてもらうため、補助教材として「農業とわたしたちの暮らし」を配布しています。

「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク和歌山を通じて、2022年度には県内の小学校や特別支援学校等の240施設へ、約1万冊を贈呈し、学校の授業等において活用されています。

(2) 地域貢献活動の実践

健康で楽しい生活と明るい地域づくりを目指し、「ドッジボールフェスティバル」や「クラブユースサッカー大会」への後援、JAビル周辺の清掃等、地域貢献活動の実践に取り組んでいます。

また、小学生を中心とした子供たちに「お金の大切さ」を学んでもらうため、JAにおいて「金銭教育セミナー」や地域の方々が教養を深め充実した生活、心豊かな地域の仲間づくりを行うことを目的に各種カルチャー教育の開催等にも取り組んでいます。

その他、相続を取り巻く環境、遺言の魅力や遺言信託商品の案内を主な内容とする、『「思い」をつなぐ想続をめざして』と題した相続・遺言セミナーを開催いたしました。

以 上